

教科名 技術・家庭科(技術分野)

学年

1 学年

技術分野の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

第1学年の目標

- (1)材料の加工に関する基礎的・基本的な技術を習得する。
- (2)ものづくりでの、実践的・体験的な学習活動を通して、工夫して製作することや作品完成の喜びを体験する。

月	単元名・題材名・学習内容・学習活動など	学習のねらい
4	○技術分野ガイダンス	<ul style="list-style-type: none">・技術分野の授業での学習内容を確認し、意欲を高める。・材料に適した加工方法、工具や機械の安全な使用方法を理解する。・使用目的や使用条件に即した機能構造について考え、製作する方法を理解する。・構想の表現方法を理解し製作図が書けるようにする。・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組み立て・接合、仕上げができるようにする。
5	・生活や産業で利用されている技術製品	
6	・技術の進展と環境問題	
7	○身の回りを整理するものを作ろう	
8	・材料の特徴と利用方法	
9	・使用目的、条件に合った機能と構造	
10	・構想と製作図	
11	・工具や機器の安全な使用法	
12		
1	・部品加工、組み立て及び仕上げ	
2	・塗装	
3		

第1学年の目標

技術分野では3つの観点について評価します。

- ①主体的に学習に取り組む態度。(授業での粘り強さや学習の調整、学びの経験を通して、工夫し創造しようとする態度について評価します)。
- ②知識・技能(習得した知識や基礎的な技術を積極的に活用し工夫し創造する能力を評価します)
- ③思考・判断・表現(技術に関する問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践する能力を評価します)。

<評価の方法について>

- ①毎時間の学習への取り組みや学習状況、実習作業への取り組み状況、作品の提出状況、学習プリントの学習状況など)
- ②既習状況の活用状況や生活で工夫し、創造する状況などについて評価します)
- ③製作での技能の状況、完成させた作品の評価をします。
- ④学習プリント、定期テストなどで評価します。

教科名 技術・家庭科(技術分野)

学年

2 学年

技術分野の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

第2学年の目標

- (1) エネルギー変換に関する技術の進展、社会生活、家庭生活での利用とエネルギーの活用について理解する。
- (2) ものづくりでの、実践的・体験的な学習活動を通して、工夫して製作することや作品完成の喜びを体験する。

月	単元名・題材名・学習内容・学習活動など	学習のねらい
4	○技術分野ガイダンス	<ul style="list-style-type: none">・技術分野の授業での学習内容を確認し、意欲を高める。・社会で利用されている電気機器のエネルギーがどのような方法で変換されて利用されているかを理解する。・身の回りにあるエネルギー変換を利用した機器の仕組みを理解する。・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組み立て・接合、仕上げができるようにする。・表計算ソフト(Excel)を使うことができる。
5	○エネルギー変換と利用	
6	・電気をつくる仕組みを知る	
7	・電気を供給する仕組みを知る	
8	・電気回路について考える	
9	・電気機器を安全に使用する	
10	○エネルギー変換を利用した製作品を作る	
11	・製作品の設計・製作	
12	・工具や機器の安全な使用法	
1	・部品加工、組み立て及び仕上げ	
2	○表計算ソフト(Excel)の使用方法を知る。	
3		

第2学年の目標

技術分野では3つの観点について評価します。

- ①主体的に学習に取り組む態度。(授業での粘り強さや学習の調整、学びの経験を通して、工夫し創造しようとする態度について評価します)。
- ②知識・技能(習得した知識や基礎的な技術を積極的に活用し工夫し創造する能力を評価します)
- ③思考・判断・表現(技術に関する問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践する能力を評価します)。

<評価の方法について>

- ①毎時間の学習への取り組みや学習状況、実習作業への取り組み状況、作品の提出状況、学習プリントの学習状況など)
- ②既習状況の活用状況や生活で工夫し、創造する状況などについて評価します)
- ③製作での技能の状況、完成させた作品の評価をします。
- ④学習プリント、定期テストなどで評価します。

教科名 技術・家庭科(技術分野)

学年

3 学年

技術分野の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

第3学年の目標

- (1) 情報に関する基礎的・基本的な知識と技能を身に付ける。
- (2) プログラムによる計測・制御を理解する。簡単なプログラムをつくることができる。
- (3) 金属の特徴や性質を知り、生活に役立つ製作品を構想し製作する。

月	単元名・題材名・学習内容・学習活動など	学習のねらい
4	○技術分野のガイダンス	<ul style="list-style-type: none">・技術分野の授業での学習内容を確認し、意欲を高める。・簡単なプログラム作り・機器や環境の状態を計測している部分がどのように処理・判断しているかを理解する。・目的や条件に応じて、情報処理の手順を工夫し、簡単なプログラムが作成できるようにする。・製作品の機能を構造、材料の特徴を調べまとめる。・作業手順を考えて作品を製作する。
5	○プログラムによる計測・制御	
6	・計測・制御の仕組みを知る	
7	・プログラムの役割について	
8	・制御プログラムをつくる	
9	・計測・制御プログラムをつくる	
10	○金属を使ったものづくり	
11	・キーホルダーの製作	
12		
1		
2		
3		

第3学年の目標

技術分野では3つの観点について評価します。

- ①主体的に学習に取り組む態度。(授業での粘り強さや学習の調整、学びの経験を通して、工夫し創造しようとする態度について評価します)。
 - ②知識・技能(習得した知識や基礎的な技術を積極的に活用し工夫し創造する能力を評価します)
 - ③思考・判断・表現(技術に関する問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践する能力を評価します)。
- <評価の方法について>
- ①毎時間の学習への取り組みや学習状況、実習作業への取り組み状況、作品の提出状況、学習プリントの学習状況など)
 - ②既習状況の活用状況や生活で工夫し、創造する状況などについて評価します)
 - ③製作での技能の状況、完成させた作品の評価をします。
 - ④学習プリント、定期テストなどで評価します

